

充電ができない、バッテリーが持たないなど 異常を感じたら3ステップ確認！

【ステップ1】充電器が正常に動作しているかの確認

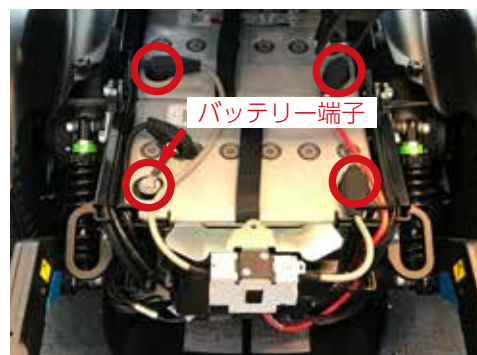
- 充電中、ファンは回転していますか？
- LEDは充電中を示す橙色に点灯していますか？
- 電源コードのプラグをコンセントに挿入が止まるまで差し込まれていますか？
- 充電コネクタに異物等は挟まっていませんか？

※充電されているかは、充電器のLEDランプで確認してください。
ジョイスティック上では、バッテリー残量表示を示すメーターが左から右方向へ点灯しますが、これはコネクタが接続されていることを示しています。



【ステップ2】バッテリーの状態についての確認

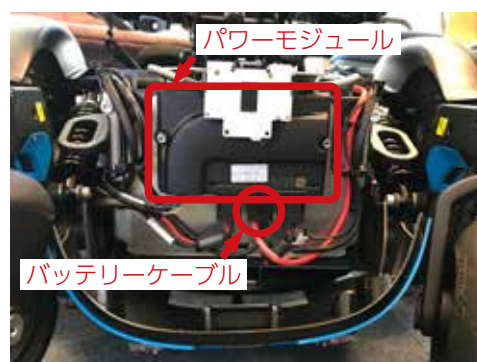
- バッテリーの接続端子が緩んでいませんか？
- バッテリー端子が腐食していませんか？
- 2つのバッテリーの電圧に差はありませんか？
2つのバッテリーに0.5V以上の電圧差がある場合は、バッテリー交換の必要性があります。



【ステップ3】車いすの状態についての確認

- ショートしている場所はありませんか？
- 端子が溶けている場所はありませんか？
- バッテリーケーブルがパワーモジュールから抜けていませんか？
- 充電器または車いすが改造されていませんか？

上記全て異常がなく、原因が特定できない場合はバッテリーと充電器を交換する、もしくは車いすの入れ替えをお願いいたします。



バッテリーを長くご利用いただくために。

- バッテリーを完全に放電させないでください。
▶ 継ぎ足し充電をしてもバッテリーの寿命は縮まりません。
- バッテリーの残量に関わらず、一度に少なくとも 10 時間以上は充電してください。
▶ 毎日、ご利用後に充電するサイクルがおすすめです。
- 短時間の充電は避けてください。
▶ バッテリーの寿命を縮めてしまいます。
- 旅行などで長期間車いすを使用しない場合は出かける前に満充電にしておき、ブレーカーをオフにしてください。再び車いすを使用する前にもう一度満充電にしてください。
▶ バッテリーの劣化を最小限に留めることができます。
- バッテリー残量が空になったときは、できるだけ速やかに充電してください。
▶ バッテリーの寿命を縮めてしまいます。
- 充電中、充電器を置く場所としては車いすのフットプレートの上など、通気性がよく熱がこもらない場所を選んでください。
▶ 充電器の故障原因となってしまいます。
- やむを得ず、外に保管する場合はバイクシートなどで車輪までカバーしてください。
▶ 雨や埃から車体やバッテリーを守るためです。
- 冬場など気温が低下する環境では、バッテリーの性能が著しく低下します。
▶ 車いすを保管および充電時の適温は 20℃前後です。